

健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすために必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

健康 万歩計

新型コロナとインフルエンザ

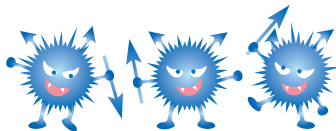
市浦医科診療所 所長 岩村 有泰 先生



2019年12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、急速に世界中に広がり、2020年10月中旬の段階で、全世界で累計感染者数約3,840万人、死亡者数約109万人と報告されています。国内においても、2020年1月15日に最初の患者が報告されて以降、患者数は増加し続け、10月15日時点で累計感染者数91,520人、死亡者数1,649人となっています。患者数は5月上旬をピークに一旦減少し、全国で緊急事態宣言が解除されましたが、その後も再増加がみられ、第2波が続いています。

ところで、季節性のインフルエンザの流行が、世界中で全くと言っていいほど起きていません。一般的にインフルエンザが流行しやすい冬を過ぎた南半球はもちろん、これから流行期を迎えるはずの日本でも今のところ患者数が例年より極めて少ないようです。

その理由は3つ程考えられます。1つ目は手洗いの徹底やマスクの着用といった新型コロナ対策がインフルエンザ予防にも役立っていること。2つ目は「ウイルス干渉」が起こっているのではないかとのこと。ウイルス干渉とは、あるウイルスの流行が、他の種類のウイルスの流行を妨げる現象のことです。3つ目は、国際的な人の移動が制限され、インフルエンザウイルスの流入を防いでいることが挙げられます。



しかし、この冬はどうか分かりません。新型コロナに対するワクチンや、特効薬がまだない今、新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えて対策することが大切です。

その対策の1つがインフルエンザワクチン（予防接種）です。インフルエンザの感染予防と重症化予防の効果があります。またインフルエンザワクチンは、もしかしたら新型コロナにも良い影響があるかもしれないという研究（インフルエンザの予防接種を受けていた人は、そうでない人よりもインフルエンザだけでなく、新型コロナによる重症化リスク・死亡リスクが減った）も出てきています。

まだインフルエンザワクチンを接種していない方は、接種をお勧めします。

その他にも、盛んに言われている新型コロナ感染予防対策を徹底し、適切な生活習慣（一人一人の健康状態に応じた運動や食事、禁煙、十分な睡眠など）を心がけること、ストレスをためないことも大切です。

最後に皆さんにお願いがあります。かぜ症状で医療機関を受診される場合、来院前にお電話をしてください。かぜだと思っていたらコロナだったということがあるからです。もし連絡がないまま受診された場合、受付や診察室で他の患者さんや職員にコロナを広げてしまう危険性が増します。おそらくその医療機関は2週間以上休診になってしまうでしょう。受診前に電話連絡を頂けるとコロナ院内感染のための防止措置ができます。ご協力をお願いします。



善意の花かご ～どうもありがとうございました～



▷小野都さん(金山)＝りんご17kg
(以上、1件くるみ園へ)

▷株式会社ミワ電工(島谷昭一代表取締役)＝20万円



目録を手渡した下山常務取締役兼工事部長(中央)

▷金木ロータリークラブ(今俊順会長)＝シャワートイレ3台(金木交流プラザへ)



目録を手渡した今会長(中央)

▷有限会社アート印刷(津島卓世代表取締役)＝立佞武多2021カレンダー100本